

第5回

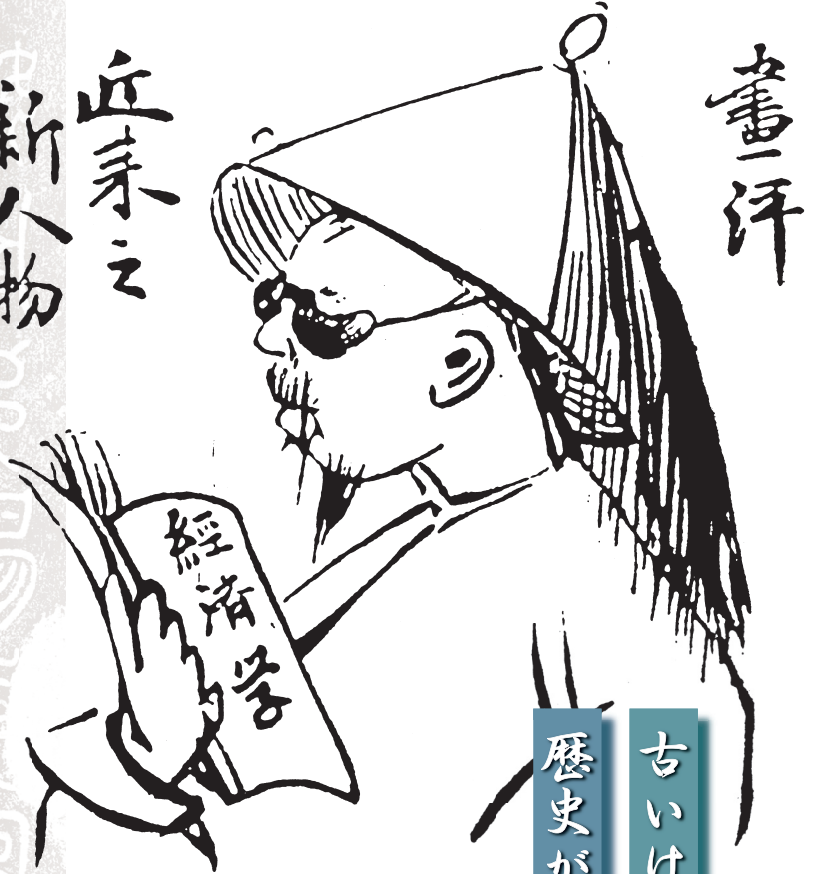
京都大学人文科学研究所

TOKYO 漢籍 SEMINAR

漢字文化と西洋近代思想の出会い

— 梁啓超を中心に —

近來之
新人物



畫汗

歴史があるから新しい

古いけれども古びない

聴講無料

- 民族主義と梁啓超 小野寺史郎
- 「眠れる獅子」のイメージと梁啓超 石川 禎浩
- 西洋近代経済学と梁啓超 森 時彦

日時

2009年 **3月7日(土)** 10時30分より16時まで

会場

学術総合センター 2階 中会議場 (千代田区一ツ橋2-1-2)

申込及び問合せ先

参加を希望される方は、「漢籍セミナー申込み」と明記し、氏名・所属・連絡先（住所・電話番号・E-mailアドレス）等をご記入の上、下記宛先へはがき（E-mail又はFAX可）にてお申し込み下さい。折返し参加可否のご連絡をはがきにて差し上げます。

京都大学人文科学研究所附属漢字情報研究センター

〒606-8265 京都市左京区北白川東小倉町47 電話：075-753-6997 FAX：075-753-6999
E-mail：kanseki-tokyo@zinbun.kyoto-u.ac.jp



第5回 京都大学人文科学研究所 TOKYO 漢籍 SEMINAR

漢字文化と西洋近代思想の出会い——梁啓超を中心に

2009年3月7日(土) 於 学術総合センター

●プログラム

- 10:30~10:45 開会挨拶
京都大学人文科学研究所附属漢字情報研究センター長 森 時彦
- 10:45~11:00 テーマ趣意説明
京都大学人文科学研究所附属漢字情報研究センター教授 井波陵一
- 11:00~12:10 講演 民族主義と梁啓超
京都大学人文科学研究所附属現代中国研究センター助教 小野寺史郎
- 12:10~13:10 休 憩
- 13:10~14:20 講演 「眠れる獅子」のイメージと梁啓超
京都大学人文科学研究所附属現代中国研究センター准教授 石川禎浩
- 14:20~14:40 休 憩
- 14:40~15:50 講演 西洋近代経済学と梁啓超
京都大学人文科学研究所教授 森 時彦
- 15:50~16:00 閉会挨拶

* 講演時間には質疑応答時間も含まれます。

司会 武田時昌 (京都大学人文科学研究所附属漢字情報研究センター教授)

●今回の概要

近代「国民国家」を創出するのに必要な政治、法律、経済、哲学、宗教、教育等、いわゆる人文・社会科学のほとんどすべての分野にわたり、梁啓超はすぐれて高度な議論を展開した。西洋近代文明の受容による中国伝統文明の再構築というきわめて大きな課題に真正面から取り組んだのである。紛争や対立の激化の中でともしれば相互理解への道を見失いがちな百年後の今日、彼が好んだ「収獲を問う莫かれ、但だ耕耘を問え」という曾國藩の言葉に従いながら、改めてその意義を考えてみたい。

* 梁啓超 (1873—1929) : 広東省新会県の人。康有為に師事して変法維新運動に従事し、1898年の戊戌政変後、日本に亡命。以後、日本を拠点とし、世界各地を駆けめぐって立憲派の勢力拡大に努める一方、「民智」向上、「国民」形成のための鼓吹宣伝に力を発揮する。中華民国成立後は国務大臣を歴任し、政界引退後は学術文化の発展に力を注ぎ、図書館の充実、後進の育成などに努めた。

●参加定員

200名 (申込み順) * 定員を超えた場合はお知らせします。